



若手エンジニアによる AI 駆動 開発実践プロジェクト

2025.10

アジェンダ

- 企画の背景と目的
- 企画概要
- チーム体制と開発テーマ
- 計画とデモンストレーション
- プロジェクト要件
- 今後の展開

01

1. 企画の背景と目的

ソフトウェア開発における AI 活用の現状と課題

急速な発展に対し、現場での実践的ノウハウが不足している状況

- ・背景
 - ・生成AIの発展により、開発現場での AI 活用が急務
 - ・多くのエンジニアが「どう使えばいいか」を模索中
- ・目的
 - ・若手主導の実践プロジェクトを通じ、**具体的な方法論とノウハウを共有**
 - ・社内での積極的なAI活用を促進
- ・期待される効果
 - ・部内エンジニアの AI ツール活用率の向上
 - ・**開発生産性の向上** とコード品質の改善
 - ・若手育成における新たな手法の確立
 - ・組織全体の AX 推進への貢献

02

2. 企画概要

若手3名で駆け抜ける！ AI駆動開発プロジェクトジャーニー

3ヶ月間の実践的なWebアプリ開発を通じて、AI活用のリアルな知見を共有

- ・**実施内容**: 若手エンジニア3名がAI開発支援ツールを駆使し、Webアプリを開発
- ・**成果発表**: 3ヶ月間の開発プロセスと成果を**60分**で発表
- ・**対象者**: 社内の全エンジニア
- ・**実施期間**: 開発3ヶ月 + 発表会

03

3. チーム体制と開発テーマ

プロジェクトメンバーと役割分担

経験年数の異なる3名が、それぞれの立場でAI活用に挑戦

リーダー：西澤君（5年経験）

全体の進捗管理、技術選定、アーキテクチャ設計を担当

AI活用：**設計思想の壁打ち**、複雑なロジック実装相談

メンバー：南雲君（2年経験）

主要機能実装、新人メンタリングを担当

AI活用：**Reactコンポーネント雛形作成**、リファクタリング

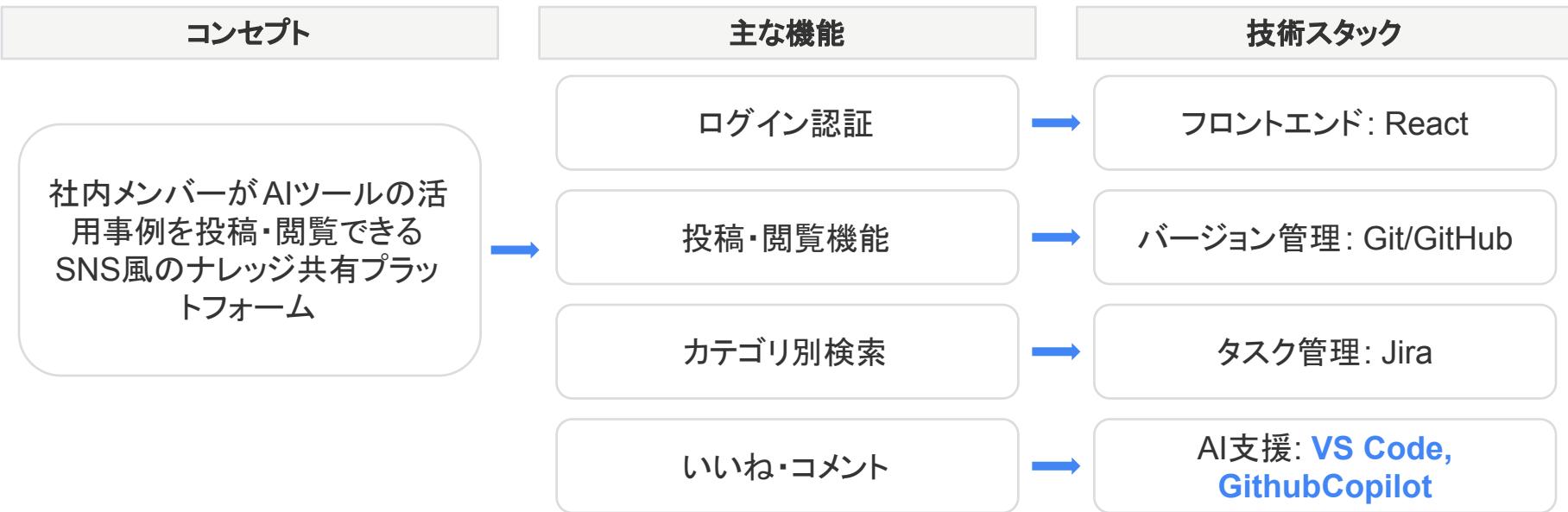
メンバー：澤田君（新人）

UI実装、ドキュメント整備を担当

AI活用：**エラー解決**、CSSスタイリング、Git学習

開発テーマ：「AI活用ナレッジ共有サイト」

AI活用の実践知を集約・共有するプラットフォームを、AIを使って開発



04

4. 計画とデモンストレーション

プロジェクトスケジュール(3ヶ月)

アジャイル開発(1週間スprint)で、毎週振り返りを実施



デモンストレーション内容(60分)

各メンバーの視点から、AI駆動開発のリアルな実践知を共有

時間	セクション	担当	内容
5分	イントロダクション	西澤	プロジェクト概要、チーム紹介
10分	成果物デモ	南雲	開発したWebアプリの実演
20分	AI駆動開発ジャーニー	全員	各メンバーの実践事例とプロンプト紹介
10分	考察とメリット・デメリット	西澤	定量・定性効果、課題と対策
10分	まとめと実践Tips	南雲	明日から使えるAI活用方法
5分	Q&A	全員	質疑応答

05

5. プロジェクト要件

必要なリソース

人的リソース
プロジェクトメンバー 3名 (週
10h/人)
メンター/アドバイザー
(月1-2回)

ツール・環境
GitHub
VS Code + Github Copilot
Jira
AIツール
(ChatGPT, Claude, Gemini)
発表会場
(Zoom or Meet)

予算
Github Copilot
\$10/月 * 3人 * 3ヶ月
合計: \$90 約15,000円

リスク管理

想定されるリスクと対策を事前に定義

リスク	影響度	対策
スケジュール遅延	中	毎週の進捗確認、スコープ調整
メンバーの業務多忙	中	他業務との優先度調整、 バッファ設定
技術的な壁	低	メンター支援、AI活用による解決
成果物の完成度不足	低	MVP(最小限の機能)の明確化

成功の評価指標

定量的・定性的な指標でプロジェクトの成果を評価

定量指標

- ・発表会参加者: 20人以上
- ・○○○
- ・▽▽▽

定性指標

- ・部内でのAI活用に関する会話の増加
- ・若手育成における新しいアプローチの確立
- ・ナレッジ共有文化の醸成

06

6. 今後の展開

プロジェクト後の展開プラン

一過性の活動で終わらせず、組織全体のナレッジとして定着させる

短期(発表後1ヶ月)

- ・発表資料とコードの GitHub 公開
- ・AI 活用ナレッジの社内 Wiki への展開
- ・追加の質問会・ハンズオンの開催検討

中長期(3ヶ月~)

- ・他チームへの横展開
- ・AI 駆動開発ガイドラインの策定
- ・定期的な AI 活用事例共有会の開催